

まめバスぶらり旅

主催・街づくり協議会・のだ

2月24日(金)「街づくり協議会・のだ」主催でまめバスに乗って野田の名所へ行くという企画を立てました。

街づくり協議会は市内5団体(生活クラブ生協、ワーカースコレクション、紙ふうせん、ZPOたすけあいスプーン、ZPOせつけんの街、市民ネットワーク)の集まりで、毎年市民の方がちよつと興味のある事を取り上げています。

今回は「まめバスって乗ったことある?」「どんなルートがあるの?」「乗り心地は?」「乗り継いで遠くまで行けるの?」等々まめバスについては知らないことだらけ・じゃあ一度乗ってみて野田の名所にも行ってみようという事になりました。

ところが、乗ってみる前にすでに幾つかの問題点が出てきました。まず時刻表の字が小さくて読めない!拡大コピーをして時刻表の見方から試行錯誤。ルート地図で自宅近くの

バス停を探し時刻表と見比べ、マーカーで線を引いたり、行きと帰りの時間を確認したりと大変な作業。市内の色々なところから乗って来るので集合時間を同じにするのも難しい・ましてや乗り継いであちこち散策などはほぼ不可能。あまり遠くまで行くのは無理なので、野田の中心辺りのキッコーマン前で下車し、郷土資料館と茂木本家美術館を訪れる事にしました。

さて当日。バスに乗っている方達は皆さん回数券を持っていた、日頃よく利用されているという印象でした。乗り合わせた方同士顔見知りになつていくようで、おしゃべりをしながら車内は和やかな雰囲気でした。いつも同じルートで自分の目的の場所へ行って帰ってくるというように見受けられました。

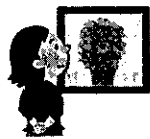


キッコーマン前の停留所

キッコーマン前で下車し少し歩いて郷土資料館へ。ちょうど「集まれ!食の仕事人」が開催中で(3/27終了)醤油産業と共に発展してきた歴史をもつ野田市の中で「食」に携わる仕事人たちの実際に使う道具や仕事への想いを知ることが出来ました。



次に訪れた茂木本家美術館は知る人ぞ知る、様々な有名な美術品を貯蔵している美術館です。野田に住んでいても足を運んだことがない方も多いいのではないのでしょうか。訪れたときには「広重名所江戸百景全揃」企画展の前期展示中でした。これだけの作品を一度に見られるのはなかなかないと思います。しかもこんなに近くで。美術館の中にカフェコーナーもありランチもできたので、参加者の皆さんとお昼ご飯を食べながらおしゃべりをし、楽しい一日を過ごす事が出来ました。



茂木本家美術館外観



『まめバスに乗って気になった事』

参加者の声より

◆買い物の帰りと思われる高齢の方がバスに乗る時、ステップが高いので荷物を持ち上げるのが大変そうでした。ご自身も乗るのが大変そう。乗り合わせた方達が手伝っていただきました。バスのステップは低くできないのでしょうか。

◆椅子が電車のように横向きなので、カーブなどでは体が横に揺れてしつかりポールにつかまっていけないと危ない。目的地まで30分以上かかるような場合もあり高齢者は疲れるのではないかと思いました。

◆時刻表の字が小さく、ルート地図も何本も線が重なり分かりにくく、皆さんがちゃんと理解されるのは大変だなあと感じました。

◆可愛いまめバスはお子さんにも人気だそうです。また100円で利用できるのもありがたいです。

* * *

今回実際に乗ってみて色々問題点がみえてきました。市民ネットワークはこれらの改善に向けて市民の足であるまめバスがより使いやすくなるよう提案していきます。

(市民ネット代表 鈴木真理子)